

京都市交響楽団

広上淳一のシューベルト&マーラー
純真無垢な天上に響くシンフォニー

©Tatsuo Sasaki

©武藤章

©Masaaki Tomitori

第643回定期演奏会

The 643rd Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

2020

3/28^土・3/29^日

午後2時30分開演（午後1時30分開場）

京都コンサートホール

Sat, March 28, 2020 / 2:30PM Sun, March 29, 2020 / 2:30PM
Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

指揮 広上 淳一（常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー）

Conductor : Junichi Hirokami (Chief Conductor & Music Advisor)

ソプラノ 森谷 真理

Soprano : Mari Moriya

シューベルト：交響曲第5番変ロ長調D.485

マーラー：交響曲第4番ト長調

Schubert : Symphony No.5 in B-flat major D.485

Mahler : Symphony No.4 in G major

開演前（午後2時ごろから）は指揮者による「プレトーク」、
終演後は「レセプション」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて、「レセプション」はホール・ホワイエにて開催します。

入場料 **S ¥5,000** **A ¥4,500** **B ¥3,500** **P ¥2,000**（舞台後方席）

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&後半券 **S ¥2,000** **A ¥1,500** **B ¥1,000**

※学生券は開演1時間前から（学生証をご提示ください）、後半券は開演後から休憩終了（後半開始）まで発売（学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません）。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」（有料・要予約）をご利用ください。
（お子様お1人につき1,000円/2020年3月19日までに京響075-711-3110へお申し込みください）

◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引（10%OFF）があります。
京響（075-711-3110）までお問い合わせください。

プレイガイド（電話予約）

- 京都コンサートホール… (075)711-3231 ●ロームシアター京都… (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570)02-9999 Pコード133-266
- ローソンチケット… (0570)000-407 Lコード55782

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>



◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

京都市



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

ROHM
SEMICONDUCTOR

京都市交響楽団

第643回 定期演奏会

The 643rd Subscription Concert
of the Kyoto Symphony Orchestra

2019年度のフィナーレは広上淳一指揮でシューベルトとマーラーの交響曲を。歌曲王シューベルトが19歳で書いたモーツァルト風の天に昇るような旋律の交響曲第5番と、最終楽章でソプラノ森谷真理が清らかな歌声で天上の生活の素晴らしいさを歌う牧歌的なマーラーの交響曲第4番で、純粋さの中に潜む作曲家の意味深な思いを感じながら、幸福感和喜びに満ちた音楽の陶酔へと誘います。

指揮

広上 淳一 (常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー)
Conductor : Junichi Hirokami (Chief Conductor & Music Advisor)



Photo : Greg Sailor

東京生まれ。東京音楽大学指揮科に学ぶ。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルト・ヘボウ管、モントリオール交響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング交響楽団、リンブルク交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団のポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年に来日公演を実現、さらに米国ではコロンバス交響楽団音楽監督を務めニューヨーク・マ、ミドリをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。近年では、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、スイス・イタリア管、モンテカルロ・フィル、バルセロナ響、ビルバオ響、ポーランド国立放送響、スロヴェニア・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ラトビア国立響、ボルティモア響、シンシナティ響、ヴァンクーヴァー響、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ指揮の分野でもシドニー歌劇場デビューにおけるヴェルディ《仮面舞踏会》、《リゴレット》が高く評価されたのを皮切りに、ブルック、モーツァルトからプッチーニ、さらにオスバルト・ゴリホフ《アイナダマル》の日本初演まで幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。また、多忙な指揮活動と並行して、母校東京音楽大学教授としても後進の育成に情熱を注いでいる。京都市立芸術大学客員教授。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」、2016年「第36回有馬賞」を受賞。2019年度「京都市文化功労者」。2008年4月から京都市交響楽団第12代常任指揮者、2014年4月からは第12代常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに就任し、2017年4月からは札幌交響楽団友情客演指揮者も務める。2020年4月から京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問に就任予定。

ソプラノ

森谷 真理
Soprano : Mari Moriya



©武藤章

武蔵野音楽大学大学院、及びマネス音楽院修了。2006年ニューヨーク・メトロポリタン・オペラ『魔笛』夜の女王役で大成功を収める。欧州デビューは'07/'08シーズン、アイルランド・オペラ『トゥランドット』リユー。オーストリア・リンツ州立劇場では『ラクメ』『マリア・ストゥアルダ』『椿姫』タイトルロール、『ばらの騎士』『ゾフィー』『ラ・ボエーム』『ミミ』『フィリップ・グラス作曲『失われたものの痕跡』等様々な役を演じ、ウィーン・フォルクスオーパー、ライブツィヒ・オペラなどにも出演。国内では2014年びわ湖ホール『リゴレット』(沼尻竜典指揮、M.ハンペ演出) ジルダ、2015年二期会『魔笛』(D.R.デヴィス指揮、宮本亞門演出) 夜の女王、2016年日生劇場『後宮からの逃走』(川瀬賢太郎指揮、田尾下哲演出) コンスタンツェ、2017年二期会『ばらの騎士』(R.ワイケルト指揮) 元帥夫人、同『蝶々夫人』(G.デスピノーサ指揮、栗山昌良演出) タイトルロール、パッパ・コレギウム・ジャパン『ボッペアの戴冠』(鈴木優人指揮) フォルトウナ、ドゥルジツァ両役、2018年びわ湖ホール『ワルキューレ』(沼尻竜典指揮、M.ハンペ演出) ジークリンデ、日生劇場開場55周年記念公演『魔笛』(沼尻竜典指揮) パミーナ、2019年6月二期会『サロメ』(S.ヴァイグレ指揮) タイトルロール等を演じ、卓越したテクニックと表現力でいずれも絶賛された。コンサートにおいても、バロックカンタータをはじめ、ペルゴレージ「スターバト・マーテル」、ベートーヴェン「第九」、モーツァルト/ヴェルディ「レクイエム」、ドヴォルザーク「テ・デウム」、マーラー「復活」「千人の交響曲」等のソリストを務め、高い評価を得ている。2019年は、10月二期会『蝶々夫人』(A.パッティストーニ指揮、宮本亞門演出) タイトルロールの他、12月藤沢市民オペラ『湖上の美人』エレナで出演。また、11月に行われた天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典にて国歌独唱の大役を務めた。2020年1月びわ湖ホール『こうもり』ロザリンデ、3月同『神々の黄昏』グートルーネ、11月日生劇場『ランメルモールのルチア』タイトルロールで出演予定。小山評定ふるさと大使。二期会会員。公式ウェブサイト <http://www.marimoriya.com>



©井上写真事務所 井上嘉和

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月から下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立。2020年4月からは新指揮者体制として、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッドが就任することが決定し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2020 1/18(土)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2020 2/14(金)から発売!

第644回定期演奏会

栄光あるイギリス音楽の極致〜大友直人のエルガー
花開く才能! 若きヴァイオリニスト荒井里桜のブルッフ

日時: 2020年 4月24日(金) 午後7時開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 大友 直人 (桂冠指揮者)

独奏: 荒井 里桜 (ヴァイオリン)

曲目: ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調op.26
エルガー: 交響曲第2番変ホ長調op.63



©Rowland Kirishima



第645回定期演奏会

俊英アルミンクの超絶チャイコフスキー!
魅惑の双子ピアノ・デュオ、エンダー姉妹のモーツァルト

日時: 2020年 5月16日(土) 午後2時30分開演

2020年 5月17日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: クリスティアン・アルミンク

独奏: フェルバン&フェルザン・エンダー (ピアノ・デュオ)

曲目: モーツァルト: 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527序曲
モーツァルト: 2台のピアノのための協奏曲変ホ長調K.365 (316a)
チャイコフスキー: 交響曲第5番ホ短調op.64



©Shumpei Ohsugi



©Nancy Horowitz

入場料 S ¥5,500 A ¥5,000 B ¥4,000 C ¥3,000 P ¥2,000
(舞台後方席)

入場料 S ¥5,500 A ¥5,000 B ¥4,000 C ¥3,000 P ¥2,000
(舞台後方席)